

目 次

◆巻頭言「学会創立 20 周年を迎えて」	学会長 藤澤 和	2
■ 2018 年度 水戸大会「偕楽園と弘道館」		
◇大会概要		4
◇基調講演		
1 「水戸偕楽園と弘道館——創設者徳川齊昭が目指したもの」	小坪のり子（水戸偕楽園主任研究員）	5
2 「水戸偕楽園に学ぶ」	藤澤 和（元明治大学教授）	8
◇一般講演		
1 「水戸偕楽園「陽」の景観形成に役立つ芝草・芝生」	清水永一（法政大学院生）	10
予 告 「日本景観学会誌 vol. 21」		15
2 「大洲市の景観政策」	土岐 寛（大東文化大学名誉教授）	17
◇水戸大会総括		19
■ 2018 年度 秋季熊本大会「熊本の震災と景観」		
◇大会概要：景観は人類存亡のバロメーター		20
◇基調講演：		
1 「鹿児島島の景観と色彩計画」	江良心利（色彩計画研究家）	22
2 「熊本市の景観対策」	川崎栄二（熊本市建設局都市政策部開発景観課）	25
3 「楓（フウ）による景観美化と災害防止」	加藤 誠（熊本県宇城市三角大田尾）	28
コメンテーター①：山戸陸也（環境保全型農業技術研究会会長）		
コメンテーター②：東慶治郎（コメの無農薬栽培農家）		
コメンテーター③加藤英八郎（元大学教員）		
4 「景観は人類存亡のバロメーター」	藤澤 和（元明治大学教授）	33
◇総括：日本景観学会熊本大会を振り返って	山路永司（東京大学教授）	35
◆事務局報告		
1) 学会のあゆみ		36
2) 会計報告		40
3) 役員名簿		41
4) 会員名簿		42
5) 定款		45
6) 論文投稿規定		46
7) 広告		表 3

注) 表紙写真：熊本城の櫓（デザイン：藤澤健士）